

令和7年度第1回小牧山歴史館等運営委員会議事録

1 会議の名称

令和7年度第1回小牧山歴史館等運営委員会

2 開催日時

令和8年2月9日（月）午後2時00分から午後3時00分まで

3 開催場所

小牧市役所東庁舎5階 大会議室

4 報告及び議題

○報告

(1) 史跡小牧山整備状況について

(2) 令和7年度（4月～12月）の運営状況について

○議題

(1) 令和8年度の事業計画（案）について

5 公開又は非公開の別

公開

6 出席者

〔委員〕 浅井啓介、西川菊次郎、八木裕介、三輪徹

〔事務局〕 小牧山課長 武市礼子、課長補佐兼係長 長谷川潤治、

専門員 浅野友昭、学芸員 石川大輝

こまき市民文化財団 マネージャー 跡見由美、

主任 松尾園子

7 会議の結果

(午後2時00分開会)

【事務局（長谷川）】

定刻になりましたので、ただ今から令和7年度第1回小牧山歴史館等運営委員会を開催いたします。

本日はお忙しいところ、ご出席いただきましてまことにありがとうございます。

なお、本日楠委員より欠席されるご連絡をいただいております。

本委員会につきましては、「小牧山歴史館等の設置及び管理に関する条例」第16条に規定しておりますとおり、歴史館等の運営を円滑に行うため設置するものであります。

なお、この会議は、小牧市審議会等の会議の公開に関する指針に基づき公開するものとしており、本日の傍聴者は2名です。なお、議事録につきましては発言内容、お名前とも、小牧市のホームページにて公開しますのでご承知おきください。

では先に、会議資料の確認をいたします。先日郵送させていただきました資料として、次第が1枚、資料1と資料2-1と資料2-2があわせて枚でございます。

本日机上で配布させていただきました資料として、委員名簿とCG再現小牧山城チラシと史跡小牧山大手道第二次発掘調査現地説明会資料、また参考資料として令和7年度小牧山歴史館事業計画書と小牧山城史跡情報館事業計画書を机上に配布させていただきます。また、あわせまして議題の資料3を机上に配布しております。

何か不足等ございましたらお申し付けください。

委員の異動がありましたのでご紹介させていただきます。長年当委員会の委員長を務めていただいていた池田洋子委員並びに校長会代表として委員をお願いしておりました富嶋明人委員が退任されました。新たに三輪徹委員、楠詩帆委員にご就任いただきました。

三輪委員より自己紹介をお願いいたします。

【三輪委員】

三輪徹といいますよろしくをお願いいたします。ここには文化財資料研究員と記載があり、数年文化財課の事業に関わらせていただきました。よろしくをお願いいたします。

【事務局（長谷川）】

ありがとうございます。続きまして、職員の異動がありましたのでご紹介させていただきます。小牧山歴史館および小牧山城史跡情報館の指定管理者受託者であります一般財団法人こまき市民文化財団の松尾でございます。

【こまき市民文化財団（松尾）】

こまき市民文化財団の松尾と申します。よろしくをお願いいたします。

【事務局（長谷川）】

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。次第の1として事務局より開会に当たりまして挨拶をさせていただきます。

【事務局（武市課長）】

改めましてこんにちは。本日はご多用のところ小牧山歴史館等運営委員会にご出席いただきましてありがとうございます。史跡小牧山では平成20年から始めました山頂主郭地区における発掘の成果を基に史跡整備を進めております。とりわけ令和3年度から進めてまいりました小牧山山頂の歴史館周囲の石垣復元等の史跡整備につきましては、本年度の整備により完成する見込みとなっております。これによりまして、小牧山が信長によって築かれた近世城郭のルーツとして、皆様にその価値や魅力を実際にご覧いただける環境が整ってきたと思います。また、今年は大河ドラマ「豊臣兄弟！」と題しまして豊臣秀長を主人公としたドラマが放映されることとあわせまして、小牧山へ市外からも多くの方が来訪されることが大変期待されています。本日は史跡小牧山整備状況報告と小牧山歴史館、小牧山城史跡情報館の令和7年度の運営状況についての報告をさせていただいた後、議題として令和8年度の事業計画（案）についてご審議をしていただきます。皆様から忌憚のないご意見を頂戴したいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。簡単ではありますが、ご挨拶に代えさせていただきます。よろしくお願いいたします。

【事務局（長谷川）】

それでは次第の2「委員長の選出及び副委員長の選出」についてであります。小牧山歴史館等運営委員会規則第2条により、「委員会に委員長及び副委員長1人を置き、委員の互選によりこれを定める。」とありますが、委員長及び副委員長の選出についてどなたかご発言はございますか。

【八木委員】

事務局の方でどなたか提案がありましたら、提案をお願いしたいと思います。

【事務局（武市）】

はい、ただいま事務局（案）とのご提案をいただきましたがいかがでしょうか。

（異議なし）

それでは、事務局からの（案）をご提案申し上げます。委員長は西川委員にお願いをしたいと思います。また、副委員長につきましては引き続き浅井委員にお願いをしたいと思います。いかがでしょうか。

（採決）

（異議なし）

ありがとうございます。それでは委員長は西川委員、副委員長は浅井委員に決定しました。よろしくお願いいたします。西川委員、浅井委員につきましては席の移動をお願いいたします。

【事務局（長谷川）】

それでは、次第の3「委員長のあいさつ」として、西川委員長よろしくお願いたします。

【西川委員長】

最近是小牧山の山頂に行く機会も減っていますのでこれを機にたまには山頂まで上がりたいと思います。これから色々お世話になるかと思いますが、よろしくお願いたします。

【事務局（長谷川）】

ありがとうございました。それでは議事に入りたいと思います。ここからの進行は、西川委員長にお願いしたいと思います。

【西川委員長】

次第の4に入ります。事務局より説明をお願いします。

【事務局（浅野）】

報告(1) 史跡小牧山整備状況について説明をさせていただきます。少し長くなりますので、着座にて失礼いたします。資料はお手元のA4サイズ1枚右上に資料1と書いてあるものと、本日机上に配布させていただきました史跡小牧山大手道第2次発掘調査現地説明会資料とCG再現小牧山城のチラシをもとに説明させていただきます。山頂部の歴史館周辺の史跡整備についてでございます。これまで、史跡小牧山主郭地区発掘調査の成果に基づきまして、歴史館周辺を5つの工区に分け令和3年度より、織田信長が築いた2段の石垣を復元整備しましたが、令和7年度で整備が完了いたします。令和7年度は残る歴史館の東から南東部について、織田信長が築いた2段の石垣や山頂へ至る搦手道の復元整備を行っており、今年3月末には完了する予定であります。

続きまして、史跡小牧山の発掘調査についてであります。令和7年度の史跡小牧山の発掘調査については、こちらの資料（史跡小牧山大手道第1次発掘調査現地説明会資料）の2ページ目をご覧ください。図1をご覧ください。図1の青丸で示した大手道の屈曲部のうち、下から一つ目と二つ目の部分、約413㎡の調査を行いました。

説明会資料の一番最後のA3のページ、「遺構平面図」をご覧ください。

調査では大手の登城路の東脇に石垣に沿って造り出された平坦な空間、平面図右側の「腰巻石垣か」と書かれている部分ですが、大手登城路沿いの壁面は上段に石垣、その下が土と岩盤を人工的に切り立てている構造をしていることがわかりました。また、平面図左側のC地区とある調査区では、現在の道から約1.5m下に、織田信長が築いた、道の山側、谷側に石積が築かれた登城路を確認しました。

令和7年12月13日（土）に現地説明会を午前・午後の2回開催し、計350名の方にご参加いただきました。

最後に「CG再現小牧山城」についてであります。

小牧山を訪れた来訪者が、小牧山城の価値や魅力についてより深く理解できるよう、織田信長築城当時の石垣や建物の様子をCGで再現し、現在の風景と重ね合わせた音声解説付きの映像を、現地を訪れた来訪者がスマートフォンなどでQRコードを読み込んで視聴できる解説板を、チラシに記載の①～⑤の5か所に設置しました。

報告（1）史跡小牧山整備状況についての説明は以上となります。

【西川委員長】

1と2併せて提案した方がよろしいですか。

【事務局（武市）】

特に今の説明で質問がなければ結構です。

【西川委員長】

1について何かご意見等ありましたらお願いいたします。

【八木委員】

資料1でありましたら、令和7年度の小牧山山頂において信長が築いた2段の石垣復元を主とした史跡整備について、全周を5年かけて復元していることよろしいですか。

【事務局（浅野）】

山頂の歴史館の周りを5工区に分けて順次整備しておりましたが、今年で1周周るよりに完成します。山頂を取り巻く二重の石垣が完成します。

【八木委員】

完成の予定期日は分かりますか。

【事務局（浅野）】

今整備工事を進めていますので、明確にこの日に完成ということは把握していませんが、3月末には完成をして皆さんにお披露目することができると思います。

【八木委員】

観光協会として各所へPRをする機会があるが、山頂の石垣復元を完了しますという時に、こういう言葉を使ってほしいといったような正式名称はあるのでしょうか。

【西川委員長】

整備がこの3月で終わったと思いますが、主郭部分は信長時代のものを中心に復元したということでもいいですか。また、大手道も発掘調査をしたところ信長時代のものが出土したということで、こちらも信長時代の形に復元したということでもいいですか。

【事務局（浅野）】

大手道につきましては、調査は終わりましたが整備はしておりません。一部、歴史館南側の岩盤と石垣のところについては完成しましたが、小牧・長久手の合戦時ではなく信長が築いた大手道となります。

【事務局（武市）】

概略というものは同じ認識だと思いますが、八木委員が仰られたのはキャッチコピー的な、いわゆる端的に示した外へ発信していこうという提案だと思います。そこは、またお時間をいただきまして調整していこうと思います。

【西川委員長】

CGで復元するとか、こういうものも昨年度できたんですね。そのPRもあわせて観光協会にやってもらうというのがいいと思いますので、概略を教えていただきたいです。

【事務局（浅野）】

小牧山の整備ですが、山頂の信長が築いた石垣は発掘調査では下の3段ぐらいしか見つかっていない。残りは自然に崩壊したものや名古屋城築城の際に石を持っていくために崩されたりしました。整備するに当たり、発掘調査で見つかったところから元々あったであろうという高さまでは、裏込石があったので高さは推定できます。推定される高さまで石垣を積んでしまうと、現代工法を使用しておらず石工さんが一つ一つ石を積むことになるので、非常に崩れやすく安全確保に懸念がありました。また、いくら当時の工法を用いて石垣を積んでも偽物を作るというになってしまうので、基本的には発掘調査で見つかった一番上の高さのラインに揃え石垣を積み、そこから上は笹や芝といった植栽で表示をしています。この植栽で表示をした部分までをCGで分かるようにしました。各所のポイントにQRコード付きの看板があります。QRコードをスマホで読み取りますと、現在地の写真が出てきて、じわじわと信長が築いた当初の石垣が復元されて、建物も復元される一連の流れを音声で解説します。

【西川委員長】

小牧山課と観光協会が連携して、小牧山の良さを観光協会として発信していただきたいです。

【三輪委員】

初年度の石垣整備が終了してから4年以上が経過しており、歴史館東側を今年度整備しているとのことですが、これで一周周れるようになりますが、大体どれくらいの方が北側まで見ているのかという事と、3段目の石垣を見ることができないことへの対応、それから北側の整備箇所について劣化した箇所への手当ということについて今後するのかということをお願いしたい。

【事務局（浅野）】

1点目について、小牧山に来訪者数を計測する方法が無いので具体的な数字はありま

せんが、れきしるこまきや小牧山歴史館では整備に関する展示もしていますので、各館の来館者の一部は北側の整備をした箇所をご覧になっているかと思います。2点目について、今のところ崩れた等の報告は無いです。

【事務局（武市）】

3段目の石垣も含めて主郭地区の整備完了に伴い、視覚的にPRできるようにドローンを用いて撮影し、SNS等を用いて周知を図る予算を来年度当初予算に計上しております。

また、山頂に木が茂っている部分がありますので、今年度高木の剪定作業を進めていますので、見やすくなれば良いなと思います。

【西川委員長】

歴史館の方で来館された方たちの声に、整備後の反響の変化などはありますか。

【こまき市民文化財団（松尾）】

来館者の方で、石垣はどこで見れますかというお尋ねがありますので、歴史館北側の石垣を見に行く方がいるように確実に実感しています。

【西川委員長】

今の大手道は完全に開通したというわけではないですね。

【事務局（浅野）】

今、発掘調査が終わりまして、埋め戻し工事をしております。これが終わりましたら通れるようにしますが、今は通れないようになっています。

【西川委員長】

山頂の御野立聖蹟碑について、危険だと感じたんですが、倒れないようにしたり登れないようにするなど、何かしら対策はしていますか。

【事務局（浅野）】

小牧山歴史館の西側にある御野立聖蹟碑について、ややクラックが入っているので安全のため周囲に柵を設け、来訪者の方に被害が及ばないようにしています。

【西川委員長】

他に何もなければ、次に行こうと思いますがいかがですか。

（意見など無し）

令和7年度の運営状況について報告をお願いいたします。

【こまき市民文化財団（松尾）】

小牧山歴史館の運営状況からご報告いたします。

（資料2—1の1番目をご覧ください。）

令和7年度の事業実施状況についてです。4月20日、10月19日に「戦国体験」を実施しました。昨年に引き続き、岐阜信長公おもてなし武将隊・響縁の皆様と小牧市観光協会専属の影忍様にご協力いただき実施したものです。甲冑試着、弓矢、火縄銃、手裏剣の体験ができるイベントで、どのブースも大変盛況となり、ご家族連れを中心に多くの方に楽しんでいただきました。2日間で延べ1,072人の方にご参加いただきました。

5月3日と11月3日には小牧市茶道連盟様による、「小牧山城茶会」を実施しました。行楽シーズンの連休中での開催となり、観光客を中心に山頂の野点を楽しんでいただきました。11月の実施時には強風のため屋外から歴史館1階へ場所を移し実施しました。参加人数は5月が197人、11月が200人で、終了予定時刻の1時間前の午後2時頃には完売となり、両日とも大盛況でした。

忍者衣装試着体験については表記のとおりです。

また、今年に入りまして、1月17日(土)から3月15日(日)まで、企画展「-緑の宝庫- 小牧山の樹木たち」を開催しております。自然観察指導員 清水豊先生にご協力いただき、小牧山に生育する樹木をパネル展示でご紹介しています。パネルの下段には、子どもたちが好きな植物の絵を描ける、おえかきスペースを設置し、世代を問わず、皆様に楽しんでいただける内容となっております。ぜひ委員の皆さんにもご来場いただけたらと思います。

続いて、入場者数についてご報告いたします。(資料2-1の2枚目をご覧ください)

小牧山歴史館の令和6年度の年間有料エリアの入場者数は53,227人、前年度と比較して25,069人減となりました。令和5年にはNHKの大河ドラマ『どうする家康』の放送などの影響を受け来場者数が増えましたが、令和6年度はその影響は落ち着き、減少したと思われまます。

令和7年度12月までの有料エリアの入場者数は34,489人、前年度同月と比較して5,959人の減少となりました。6月から9月にかけての猛暑に加え、気候の良い10月の土日が天候に恵まれなかったことなどが影響していると思われまます。令和7年9月14日にはNHKスペシャル「戦国サムライの城 第1集 信長 驚異の”城郭改革”」で小牧山城が取り上げられるなど、依然として小牧山城への注目は高く、令和8年1月から放送の大河ドラマ「豊臣兄弟!」も始まったことで、今後一層注目が集まり、来場者の増加が予想されるため集客につながるよう広報活動等に努めて参ります。

以上で、小牧山歴史館令和7年度の事業報告を終わります。

【こまき市民文化財団(跡見)】

続きまして、小牧山城史跡情報館(れきしるこまき)の運営状況についてご報告いたします。資料2-2をご覧ください。

令和7年度の事業の実施状況についてですが、企画展としては、「史跡小牧山大手道発掘調査と石垣復元パネル展」及び、小牧市出身の郷土史家津田応助の業績のうち、小牧山にかかわるものを中心にパネルや史料で展示した「津田応助と小牧山」を実施しました。その他、大人向けの自然観察会、初開催となるコンサート「信長も聴いたクラシック音楽～リュートの音色にのせて～」、親子講座「小牧山城の発掘品にふれてみよう!」、子供向けワークショップ「戦国武将なりきり体験～ダンボール甲冑をつくろう!」

～」、吉本興業所属芸人の房野氏による歴史講座「超現代語訳 小牧山城」などを実施しました。特に歴史講座については、講師を芸人さんにしたことにより客層も受講後の感想も以前とは違ったものになりました。歴史に興味のない方にも楽しみながら学んでいただくという講座の目的はおおむね達成できたのではないかと思います。

入場者数についてご報告します。

まず令和6年度ですが、来場者数の合計が96,530人で、前年度より4,327人減少しました。これは大河ドラマ「どうする家康」の放送により小牧山への注目度が高まった令和5年度のブームが落ち着いたことが減少した主な要因と考えております。

令和7年度につきましては、特に10月の土日に雨天が多かったことに加え、集客が見込める市民まつりも雨天であったため大きく減少しました。しかし、令和8年1月から大河ドラマ「豊臣兄弟!」が始まり、小牧山への再度の注目が期待されています。今後は集客につなげられるよう積極的に広報活動に努めて参ります。

来館者数増加に向けた取組についてですが、スタンプラリーや戦国体験、お茶会など予約なしで楽しめるイベント等を企画しています。また、新聞や無料のイベント情報サイト、SNSなどを活用した広報活動も行っています。

ガイドボランティアの取組についてですが、令和7年9月から、毎月第4日曜日の午前中に当日の来館者を対象に館外ガイドを行っています。また、年に2回ボランティアガイドに対する研修会を実施し、ガイドに必要な知識の習得に励んでいます。

以上で、れきしるこまきの運営状況の報告を終わります。

【西川委員長】

今年度の歴史館及びれきしるこまきの運営状況を報告していただきましたが、何かご質問やご意見等ありましたらお願いいたします。

【三輪委員】

れきしるの施設の中に収蔵品展示室という企画展示室の奥のガラスで仕切られた部屋があって、あそこは収蔵品展示室という名前だと思うので倉庫ではないです。その為、関係者抜きで入室してはいけないと思いますが、来館者に向けた収蔵品展示室の活用について何か予定があるのかお尋ねしたいと思います。

【こまき市民文化財団（跡見）】

収蔵品展示室については、現在のところ活用はしておりません。

【西川委員長】

一番奥の部屋が講演会場みたいになっていますよね。利用状況というか活用状況について教えてください。

【こまき市民文化財団（跡見）】

レクチャールームの利用状況について、一般のご利用はほとんどありませんが講座やワークショップ等で利用しています。また、団体見学の予約が入りますと職員が説明をしています。

【西川委員長】

例えば、学校関係が団体で見学に来た場合に、あそこに集まって話をするとかもないですか。

【こまき市民文化財団（跡見）】

学校関係をはじめとした団体利用の際に、レクチャールームで映像を見せながら解説をしています。

【西川委員長】

小牧山歴史館についても、ご意見等ありましたらお願いいたします。

【三輪委員】

さきほど述べたのはレクチャールームではなく収蔵品展示室のことです。一応、あそこは小牧山周辺の遺跡で発掘されたものが整理され、水色の箱に収められています。わざわざ、ガラス張りにしているのは整理され保存されていますよということに来館者の方に見てもらおうという意味の施設でもあると思うので、外側から見てももらうことでも意味はあることだと思います。せっかくガイドボランティアさんがいるので、れきしるの職員さんではないですが、ガイドボランティア立ち合いのもと収蔵品展示室内に入らせていただくことをしたらどうでしょうか。

【西川委員長】

主郭地区整備で使用している石垣の石材の一部を持ってきて、展示解説をしたらどうでしょうか。広報に掲載のあった、名前を石垣の石材に残しましょうという、あれはまだ先のことですか。

【事務局（浅野）】

整備で使用する裏込石にお金を払って名前やメッセージを記名するというイベントがありますが、こちらは令和3年度から開始し、今年度で終了します。また、整備に当たり費用が必要となりますので、寄附をいただいた方の氏名で記銘板を作成し、小牧山歴史館の1階に設置するというのを市制70周年事業として今年度行っています。当初の期間は12月末まででしたが、好評でしたので3月13日まで期間延長をしています。

【西川委員長】

お宮さんに行けば玉垣を作る時に、寄付額に応じて大きさが分かれ氏名が掲載されると思うが、歴史館内ではなく何か目につく物を作るということにはできないですか。

【事務局（浅野）】

小牧山は国指定史跡となるため、氏名を刻んだものを表に見えるように設置することはできません。寄附に関しては、歴史館内ですが銘板を作成して残るようにさせていただきます。

【西川委員長】

他に何かありませんか。では、議事の方に入りたいと思います。令和8年度の事業計画についてお願いいたします。

【こまき市民文化財団（跡見）】

令和8年度の事業計画(案)について資料3をご覧ください。れきしる・歴史館併せてご紹介させていただきます。

れきしるこまきの企画展ではNHKの大河ドラマ「豊臣兄弟!」が1月からスタートし、小牧・長久手の合戦も取り上げられることから、「小牧・長久手の合戦と小牧山」を企画しております。歴史館の企画展では「小牧山タイムトラベル写真でよみがえる 小牧山の昔と今」(仮)と題し、小牧山の姿を写真を通して過去から振り返ります。また、れきしるこまきでは、歴史にあまり興味のないお客様にも足を運んでいただけるように「コンサート」や戦国時代に使用していた陶器を作る「陶芸体験」、愛知県の伝統文化として徳川家ともゆかりのある「有松絞り体験」、戦国時代にも使われていた刀剣の歴史や基礎知識などを学ぶ「刀剣講座」などを計画しております。

歴史館では、「戦国フェス」として戦国体験と食を楽しめるイベントを計画しております。小牧山の歴史や文化に触れ、楽しく学ぶことができる事業を実施してまいります。小牧市の文化協会や小牧・長久手の戦い同盟等とも協力しながら事業を進めていきたいと思っております。また、ガイドボランティアによる館内・館外ガイドを行い、小牧山の歴史や魅力をより分かりやすく興味深く知っていただけるように努めてまいります。

以上で、令和8年度の事業計画(案)についての説明を終わります

【西川委員長】

令和8年度事業計画(案)について、質問やご意見等ありましたらお願いいたします。

【三輪委員】

小牧山歴史館の企画展で「小牧山タイムトラベル写真でよみがえる 小牧山の昔と今」とありますが、かつての小牧市歴史館が開館したのが昭和43年で1968年ですよ。そうすると令和8年度は開館49年に当たると思われますので、50周年記念の企画展としてもよいのではないかと。また、歴史館の企画展は非常に限られた範囲で展示するしかなく、小牧山に関する写真はとても多く、1回では展示しきれないしネタ探しをするのも大変だと思うので2年に分けて開催するのはどうでしょうか。

また、れきしるの令和7年度の子ども向けワークショップで、夏休みに開催されたのが参加人数が16人ということでしたが、夏休みというのは子どもにとって非常に参加しやすい時期だと思いますので、もう少し参加者が集まるといいなという印象を受けました。令和8年度の計画を見ても子どもが参加すると思いいなと思う企画がいくつかあるので、子どもたちがさらに参加するようなPRができればいいなと思いました。

【西川委員長】

50周年というのは再来年なのかな。

【事務局（浅野）】

2028年が開館60年となります。

【西川委員長】

それに向けて記念の冠事業を計画をしていただきたいと思います。

【浅井委員】

僕は小牧市出身なので、小学校・中学校の校歌には、小牧山を題材にした歌詞が入っていると思いますが、卒業生も含めて校歌を歌ってみるのはどうでしょうか。小牧山がどういう所なのかという物語を作ってしまう、小牧山というものが一体なんなのかという物語を設定し、なぜここが重要なのかという流れを作りイベントをするのが良いのではないかと思います。またもう一つ、歴史のYouTuberというのが色々出てきておりますので、YouTuberが来る際には案内しますといったのも重要かと思います。ぜひよろしくお願ひいたします。

【西川委員長】

三英傑が関わった都市としては珍しいと思うので、色んな企画できるかなと思いますので、ぜひよろしくお願ひいたします。

【八木委員】

れきしるこまきの事業計画に企画展で「小牧・長久手の合戦」とありますが、こちらは「豊臣兄弟！」の放映に併せてということでしょうか。

【こまき市民文化財団（跡見）】

そうですね、時期はCP課に確認していただいています、放映時期に併せて企画展を計画しています。

【八木委員】

そういうのがあるとPRがしやすいので、いい時期にやっていただければと思います。

【西川委員長】

あと、よろしいですか。なければ事務局にお返しします。

【事務局（長谷川）】

ありがとうございました。皆様から色んなご意見いただきましたので、参考にしてより良い小牧山の整備にも活かしていこうと思います。これをもちまして、令和7年度第1回小牧山歴史館等運営委員会を閉会いたします。